

# 日本語構造伝達文法の歌

作詞・作曲 今泉喜一  
歌 今泉喜一  
編曲・演奏 濹谷郁代 (2,3,4)  
自動演奏 (1)

## 日本語構造伝達文法の歌・1

### この世に生まれて

- 1 この世に生まれて 歩いた道は  
ことばと共に 創った道だ  
思いを整え 意志を導く  
ことばよ ことばよ 力のみなもと  
ことばを友として 人の世を生きる

- 2 名詞は動詞と 格で結ばれ  
動詞細やかに 文をまとめる  
こころの思いは 文で伝わる  
ことばよ ことばよ 不思議な力よ  
ことばのしくみを 尋ねつつ歩む

- 3 ことばの底には 構造がある  
生き物すべてと 分かち合ってる  
人には時相や 態もある  
ことばよ ことばよ 普遍の力よ  
美しい姿を この目で見たい

美しい姿を この目で見たい

## 日本語構造伝達文法の歌・2

### 生まれて育つ

- 1 生まれて育つ 国と時代  
選ぶことは できないが  
幸せ求める 願いは同じ  
ことばにすれば いつかかなう
- 2 親から学んだ ことばの力  
人から学んだ 世のありさま  
生まれ合わせた 我ら同胞(はらから)  
伝え合おう 理解し合おう
- 3 国と時代で ことば変われど  
人に備わる 構造は  
永遠(とわ)に変わらぬ 普遍の原理  
尋ね求めて 姿を見ん

永遠(とわ)に変わらぬ 普遍の原理  
尋ね求めて 姿を見ん

## 日本語構造伝達文法の歌・3

### 月や星が教えてくれる

- 1 月や星が教えてくれる 自然を貫く力の理  
主格について聞いてみる 向かい来る風に  
第1, 第2, 第3の 異なる主格, 主語がある  
主体, 属性, 設定順の 先後関係
- 2 コーヒーを置き思いめぐらす 伝達文法時相の図  
過去進行中 42 2桁表示法  
笹の舟が流れ行く 前や後ろに木の葉舟  
絶対時と相対時を 備えた日本語
- 3 天然の四季移ろう姿 他者と関わる人のさま  
あすas, あるar, えe と組合せて 表す態関係  
原因態と受影態, 許容態と態の基で  
事象を捉え, 言い表す 日本語のしくみ

日本語文法

- Track01 文法の歌・1 歌唱  
Track02 文法の歌・2 歌唱  
Track03 文法の歌・3 歌唱  
Track04 文法の歌・4 歌唱  
Track05 文法の歌・1 演奏  
Track06 文法の歌・2 演奏  
Track07 文法の歌・3 演奏  
Track08 文法の歌・4 演奏

## 日本語構造伝達文法の歌・4

### 風が吹くと

- 1 風が吹くと 時に 思い出す  
聞くまま信じた はたちの頃は  
格とは何か 分からなかった  
風が吹いて そっと ささやいた  
(風)「実体と属性の 論理関係」  
(風)「格に備わる法則だけは 波に聞け」
- 2 格は結ぶ 強く  
実体と 動詞, 形容詞, 態の属性を  
構造を作る かなめの力  
(私)「格の数は, 波よ, いくつある」  
寄せては返しとどろく波は 返事にたゆたい  
(波)「その法則は 自己に聞け」

- 3 2時に会える 君に 久しぶりに  
君にもらった シャツに着替えて  
バスに乗って行き そちらに着いて  
君に見せたい ものが ここにある

(私)「格のしくみは どのようなものか」  
(私)「事象をいかに 捉えているのか」  
(私)「自己に問う」

これまで4曲の「日本語構造伝達文法の歌」を作詞・作曲して、『日本語のしくみ』の(2)~(5)に載せてきました。どんな歌か知りたいという声もありましたので、素人ですが、私が歌うことにしました。(へたなところは、ご愛嬌ということで、お許し願います。)歌唱のない演奏のものもあります。